

## 「保育所における食事の提供ガイドライン」の作成について

### <目的>

乳幼児期は、生涯にわたる生きる力の基礎が培われる重要な時期であり、その中でも「食事」は発育・発達や豊かな人間性の形成に欠かせないものである。しかしながら最近の乳幼児期の「食」をめぐる環境には課題も多く、保育所保育指針において、保育所での食育の重要性を掲げ、健康な生活の基本として「食を営む力」の育成に向けて、その基礎を培うことを目標とし、各保育所で取り組んでいるところである。

今回、保育所における食事について現在の保育所の状況や保護者支援の観点もふまえ、ガイドラインを作成し、周知を図る。

### <ガイドラインの方向性>

○現在の子どもを取り巻く「食」に関する状況を整理

→保育所において「生活の一つとして食事を提供する」ことはどういうことか、根本的事項を整理する。

※特に乳幼児期の食事については、発育・発達過程に応じた食の役割があり、その特性を踏まえた、望ましい食事の内容や環境について整理する。（乳幼児期は食の営みの基礎を培う重要な時期である、発育・発達の個人差がある等。）

○保育所における、食に関する保護者支援の必要性を明記する。

○保育所での給食実施についての留意点を明記する。

- ・栄養面、衛生面については既出のガイドラインを集約する
- ・食育については、平成16年の指針から、改めて重要なことを明記

○従来行われている給食の特長を整理する。

- ・作る人・食べる人の関係性、生活の場としての重要性→調理の姿が見える
- ・食に対する興味・関心をもつきっかけ→調理過程での音や香りによる五感の刺激
- ・離乳食への細やかな対応が可能
- ・体調不良児、アレルギー児、障害児等、個々の状況による対応が可能
- ・急な予定の変更等、保育による時間の調整等が柔軟に行える
- ・自家菜園の調理依頼等、保育との連携がとりやすい

○好事例集を掲載する

→今後の園での取り組みに参考となるよう、保育所における様々な「食」への取り組みを紹介する。

## ガイドラインイメージ

- 1 子どもの食をめぐる現状
- 2 保育所における食事の提供
  - ・ 生命を営むための食事としての役割（発育・発達に応じた「食」の特性）
  - ・ 食事をとおとしての教育的な役割
  - ・ 食文化を継承するための役割
  - ・ 保護者に対する支援
  - ・ 地域に対する支援
  - ・ 自園調理のメリット
- 3 保育所における食育
  - ・ 保育所保育指針、食育のガイド、第2次食育推進基本計画等から
- 4 栄養面、衛生面、安全面での留意点
- 5 好事例集

テーマ	担当者
1 子どもの食をめぐる現状	
2 保育所の給食の取り組み <ul style="list-style-type: none"><li>・ 発育・発達過程と「食」</li><li>・ 教育的側面</li><li>・ 食文化の継承</li><li>・ 保護者、地域支援</li><li>・ 自園調理のメリット</li></ul>	
3 保育所における食育	
4 衛生面・安全面	
5 好事例集	